

富岡製糸場と深谷人

【第9回】

工女第一号

尾高 勇

尾高勇は、万延元年（一八六〇）四月四日に尾高惇忠の長女として下手計村で生まれました。

明治政府は、富岡製糸場の操業開始の見通しがついた明治五年（一八七二）二月、製糸場で働く工女を募集しました。

しかし、応募者はゼロ。製糸場の中心となる工女の応募が無くては、手の打ちようがなく、事態は深刻を極めました。理由を調査すると、「若い娘だけ募集するのは、その生き血をとるためである」という噂が広がっていることがわかりました。それは、製糸場の指導監督のフランス人が飲む赤いブドウ酒を見た人が、生き血を飲んでいると思ひ込んだことが原因だったのです。

初代所長を務めていた惇忠は手を尽くして、その噂が根も葉もないものであることを説明するのですが、疑いを解くことはできません。

同年五月、政府が生糸生産の振興を目的に全国に通過した『告諭書』にも、若い娘の生き血をとるといふ噂は事実無根であることが盛り込まれましたが、一向に工女の確保は進みませんでした。そこで惇忠は、最愛の娘である勇を富岡へ招き寄せ、工女として働いてもらうこととしました。

惇忠が自ら決断し、範を示すことで、工女の応募を促そうとしたのです。

同年七月、当時十四歳の勇も惇忠の熱意を感じとり、西洋式製糸技術を習得するために、富岡製糸場に入り、日本の伝習工女第一号として率先して新しい技術の習得に努めました。惇忠の熱意と、勇のけなげな決断は、噂が全くの流言にすぎないことの証明となりました。そして、これは郷里の下手計村の少女らに強い影響を与え、五人の少女が勇と行動を共にする

こととなったのでした。

勇は、明治六年（一八七三）二月、オーストリア・ウィーンで開催された万国博覧会に、富岡製糸場から出品された生糸を製造した一等工女十八人のうちの一人として、その名を連ねています。

近代日本における女性労働史のページを飾る『尾高勇』は十七歳で富岡を去り、十九歳で結婚しました。母としては、後に埼玉銀行初代頭取となる長男甚之助を育て、大正十二年（一九二三）六十四歳でその生涯の幕を閉じました。



▲『尾高勇(1860 - 1923)』(永田新一氏提供)伝習工女第一号として活躍しました

(文：荻野勝正)

血とワイン 間違えて デマが飛び

フランス人はワインを好んだことから日本人はこれを人の生き血と間違えて、「フランス人は人の生き血を飲む恐ろしい人だ」というデマが飛び、工女を募集してもなかなか集まらなかったというエピソードが残っている。

(『富岡製糸場「絵手紙かるた」』NPO法人富岡製糸場を愛する会 より)



※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。

市長の深い話

深谷市長 小島 進



本当にありがとうございました

ゆるキャラグランプリ2014で、ふっかちゃんが見事準グランプリとなりました。3年前の第6位から始まり、おとしが第5位そして昨年が第4位と、一歩ずつ順位を上げてきて、今年こそは「みんなと一緒に、てっぺんとろろぜい！」を合言葉にグランプリを目指してきました。残念ながらその目標を達成することはできませんでしたが、素晴らしい結果だと思っています。

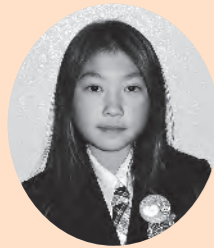
今から4年前の平成22年6月28日、日本全国からデザインを公募し、1400件を超える応募の中から選ばれて誕生したふっかちゃん。

誕生して間もない頃は、正直あまり相手にされないこともありました。それが今では、多くの人に愛される、深谷にとって欠かせない存在となりました。というのも、純粹にふっかちゃんが好きというかたには怒られるかもしれないが、ふっかちゃんがテレビや新聞などで取り上げられることによって、多くの税金を投入することなく市のPRや市内経済の活性化につながり、市にとって大きな効果をもたらしてくれるのです。そういった観点からもふっかちゃん存在はとても重要だと思っています。

投票開始から結果発表までの約2カ月間、たくさんの方々が行政と一緒に頑張ってふっかちゃんを盛り上げてくれました。その結果、第4位だった昨年より2倍近くの票を獲得できたのは、今まさに市が推進している『市民との協働』そのものではないでしょうか。

最後になりますが、ふっかちゃんを応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ごつぞ、これからもふっかちゃんをよろしくお願いします。

ありがとうの手紙



優秀賞

小学校高学年の部
お母さんへ

上柴西小学校4年（現5年） 尾上心愛さん

お母さんはいつも家族の朝食、昼食、夕食そして血洗い、洗たく、私や弟のめんどう。毎日お母さんは大変だと思います。でも、お母さんは、私が嫌なことがあったらすぐ助けてくれて、いつも味方をしてくれます。私はいつもやさしく、いつも笑顔のお母さんが大好きです。お母さんは毎日大変なのに、自分のことをするより家族の方を優先して、お母さんってすごいと思います。私も大人になったら自分の子にすごいなあと思われるやさしいお母さんになりたいです。

みんなの声BOX

Q 市役所の各種手続きや業務についてメールで問い合わせができますか？

A 市ホームページの『問い合わせフォーム』をご利用ください。

質問の内容に応じて各課にメールで問い合わせいただけます。

メールの内容を担当者が確認し、必要に応じて、メールまたは電話でご返答します。

ただし、緊急の場合は電話でお問い合わせください。

問い合わせ
秘書課(☎574 - 6631)

